

指導教員	白松 俊
研究室から一言	「大規模言語モデルの実社会応用やシビックテックに興味がある」 「人間社会の合意形成手法をアップデートしたい」という人、ぜひ！
研究テーマ: <b>自然言語処理でコラボレーション(合意形成やシビックテックなど)を支援</b>	
白松研では、 <b>自然言語処理</b> や <b>ナレッジグラフ</b> といった技術を応用して、合意形成やシビックテックなど組織の壁を越えたコラボレーションに使えるようなシステムを研究・開発しています。特に GPT-4 等の <b>大規模言語モデルを実社会の課題解決に活用する手法</b> を研究しています。なぜかと言うと、人々が AI にポジションを奪われるディストピアではなく、 <b>AI が人々の能力をブーストして幸せにする社会を実現したい</b> からです。例えば、AI 相手に人間が議論することで議論参加やファシリテーションを練習するシステムを開発し、8 月 4 日の中日新聞朝刊で紹介されました(下図)。また、愛知県の実証実験事業 Aichi X Tech に採択され、過去の行政文書から <b>「あのときの経緯」を探して教えてくれるシステム</b> の開発にも挑戦しています。他にも、生活困窮者の支援活動を支援するシステムや、ユーザの <b>メンタルケアやコーチング</b> をしてくれる <b>パーソナル AI</b> も開発中です。ぜひ一度覗いてみて下さい！	
研究室見学会 場所: 2 号館 B 棟 2 階 202B	
研究室見学会 日時 (他の日時を希望する方は、 <a href="mailto:siramatu@nitech.ac.jp">siramatu@nitech.ac.jp</a> まで、応相談) 10/12(木)13:00, 10/13(金)13:00, 10/16(月)14:40, 10/19(木)13:00, 10/24(火)14:40	
定員超過の場合の選考基準: 面接にて総合的に選考	

新聞記事のスクリーンショット。GPT-3.5と対話する様子や、AIが課題解決に役立つという内容が写っています。

GPT-3.5 相手にファシリテーションの練習をするシステムのスクリーンショット。対話ボックス、音声入力、企業選びの7要素などが表示されています。

就活生のコーチングをするパーソナル AI の図解。前提、行動、結果のサイクルが示されています。

**2023 年 8 月 4 日中日新聞朝刊**

**GPT-3.5 を相手にファシリテーションの練習をするワークショップの記事**

**アジャイルな合意形成プロセス**   **メンタル危機の検出ボット**